

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|----------------|------------------------------|----|--------|----|
| ○事業所名 | 児童発達支援・放課後等デイサービス ヒツナ 児童発達支援 | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年 2月1日 ~ 2025年 2月28日 | | | |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 33 | (回答者数) | 23 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年 3月10日 ~ 2025年 3月 12日 | | | |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 7 | (回答者数) | 5 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年 3月 13日 | | | |

○分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|--|--|
| 1 | 子どものことを十分理解し、子どもと保護者の二二 ズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援 計画（個別支援計画）が作成されている。 | お子様の発達や特性、心理的な課題についてエビデンスに基づ いて専門的・客観的な分析を行えるよう、社員教育の機会を十 分に設けている。 また、支援計画を立てる際は児発管の独断だけではなく広く職 員の意見を聞き、複数の視点からお子様の姿をとらえられるよ う工夫している。 | 引き続きお子様を理解するための学びを継続していく。セラ ピストとの連携も強化し、より充実した計画の策定を行う。 |
| 2 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫 されている。 | お子様が「楽しい」と感じることができ、そこから主体的に学 びを展開していくようなプログラムを全職員が精力的に考 えている。 | お子様の「好き・得意・興味関心」をさらに理解し、そこを ヒントにしたプログラムを引き続き考案していく。 |
| 3 | 事業所の職員から共感的に支援をされている。 | お子様の幸せのためにはご家族様が幸せであることが不可欠だ という前提を共有し、お子様の支援だけではなく、保護者様の 気持ちに寄り添うための研修機会も設けている。 | 引き続き保護者様への支援も重要な役割であることを肝に銘 じながら、包括的な支援を展開していく。 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|---|
| 1 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その 他地域で他のこどもと活動する機会 | ・地域に開かれた「ヒツナパーク」の取り組みについて、ご 利用者様への周知徹底が不足している。 ・時間や環境の課題から積極的に計画を検討できていなかっ た。 | ・ヒツナパークへの参加機会、情報共有の機会を増やし、 地域での交流を増やすよう取り組みを行う。 ・まずは近隣の保育所等との関係構築をさらに強化し、地域 に開かれた事業所を目指していく。 |
| 2 | 家族に対しての家族支援プログラム(ペアレント・ トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情 報提供の機会 | ・機会設定はしていたものの、参加しやすい日程調整や託児環 境の整備が不足しており、ご参加できる保護者様が限られてしま った。 | ・次年度も実施する。環境整備の工夫を行い、参加しやすさ に配慮する。 |
| 3 | 非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他 必要な訓練の実施 | ・法令に基づいて実施しているが、そのご報告や計画について 保護者様に周知徹底できていない。 | ・実施計画や実施の様子についてHPやSNS、連絡ツールを用 いて発信を行う。 |